

令和5年
11月発行

けんこう岩

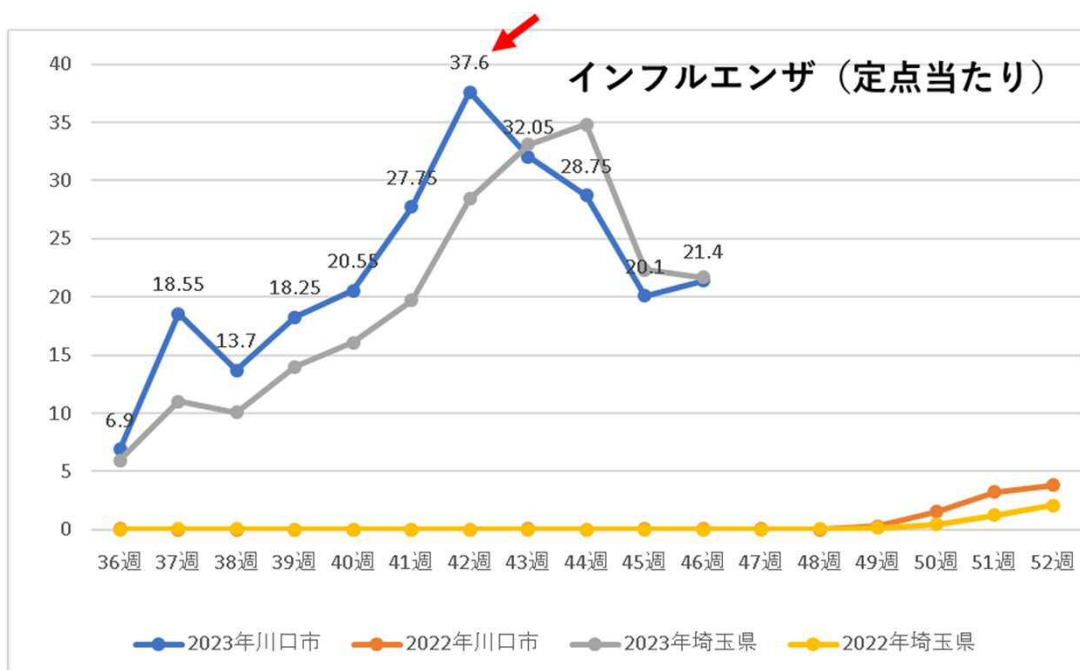
川口市
保健所
広報

インフルエンザの流行について

厚生労働省感染症サーベイランス事業により、川口市内の医療機関で診断したインフルエンザの患者数(定点医療機関当たり報告数)は、**第42週(2023年10月16日~22日)**で**37.6人**となり、国の定める警報の基準値である30人を超えました。埼玉県は43週で30人を超え、異例の速さで警報を発令しています。



川口市マスコット きゅぼらん



インフルエンザ患者報告数/定点

例年、インフルエンザは1月以降に感染のピークを迎えます。今後、さらに流行する可能性がありますので、注意しましょう。

インフルエンザの感染を予防するためには、「咳エチケット、手洗いの励行、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスの良い食事」がポイントです。体調管理を十分に行いましょう。

引用：埼玉県、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html#ryuukouzyoukyou>

問い合わせ……管理課管理係 048-423-2334(直通)
疾病対策課感染症係 048-423-6726(直通)



川口市
インフルエンザ
ホームページ

市販薬との安全な付き合い方

薬局や薬店で購入することができる市販薬には、「要指導医薬品」と「一般用医薬品」があります。



副作用の発生の危険性などのリスクの程度に応じて、次のように分類されています。

リスク区分	リスクの程度	医薬品の例	相談対応する専門家
要指導医薬品	市販薬として初めて販売される成分を含む等、取り扱いに注意が必要な薬、毒薬、劇薬に指定されている薬	医療用医薬品から市販薬に代わったばかりの薬など	薬剤師
一般用医薬品			
第一類医薬品	副作用等により日常生活に支障が出るおそれがあり、特に注意が必要な薬	一部の胃薬、解熱鎮痛薬、毛髪用薬など	薬剤師
第二類医薬品	まれに副作用等により日常生活に支障をきたすおそれがある薬 指定第二類医薬品 第二類医薬品のうち、特に注意を要する薬（相互作用のリスクや使用者によって副作用のリスクが高まるものなど）	主なかぜ薬、解熱鎮痛薬、胃腸薬など	薬剤師 または 登録販売者
第三類医薬品	リスクが比較的低い医薬品	ビタミン剤、整腸薬など	薬剤師 または 登録販売者

医薬品の適正使用のために ～市民の皆様へお願い～

要指導医薬品と第一類医薬品は、購入前に、薬剤師から質問や説明があります。他に飲んでいるお薬や持病等がある場合は、お薬手帳を持参することをお勧めします。

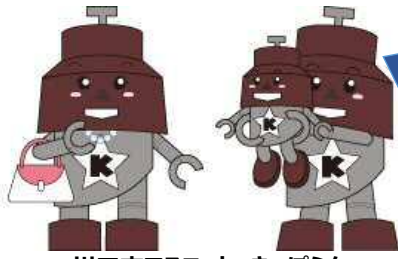
依存性や習慣性があるなど乱用のおそれのある成分を含む医薬品についても、適正使用のための質問や販売個数の制限があります。

なお、医薬品を使用される方の状況によっては、薬剤師等の判断で医薬品を販売しない場合や、医療機関への受診を勧める場合があります。



市販薬を購入する際は、リスク区分や使用上の注意を確認し、積極的に薬剤師や登録販売者に相談しましょう。

保健所管理課 医事薬事係 電話：048-423-6614



川口市マスコット きゅぼらん

自分のため、なにより大切な人のために 受けよう！がん検診

がんは早期発見・早期治療することで、治すことのできる病気です。
早期発見のために、がん検診による定期的なチェックをしましょう。

？ どんな検診があるの？

検診の種類	対象	自己負担金
胃がん（内視鏡） ※昨年度受けていないかた	50歳以上	2,000円
大腸がん	40歳以上	500円
肺がん・結核	40歳以上	500円
子宮頸がん	20歳以上	頸部のみ500円 体部含む1,000円
乳がん ※昨年度受けていないかた	40歳以上	1,000円
前立腺がん	令和5年度に50・55・60 ・65・70・75歳になるかた	500円
肝炎ウイルス ※生涯に1回	20歳以上	無料

！ 70歳以上のかた・生活保護受給者のかた・市民税非課税世帯のかたには、自己負担金の免除制度があります。詳しくは「川口市けんしんガイドブック」、市のホームページをご確認ください。
なお、下記、川口市ホームページ「けんしんガイドブック」の二次元コードからもご確認いただけます。

？ どこで受診できるの？



川口市ホームページ
けんしんガイドブック



検診実施医療機関は、上記、二次元コードから、川口市ホームページ「けんしんガイドブック」をご確認ください。冊子は支所や公民館、図書館等に設置しています。

？ どうやって受診するの？

医療機関に電話などで、事前にご予約のうえ、がん検診の受診券を持って、受診してください。



？ 受診券を持ってない。どうしよう？

受診券再発行フォーム

- ・右の「受診券再発行フォーム」から、申請してください。
- ・下記記載の、「健康増進課 健診係」まで、お電話にてご連絡ください。



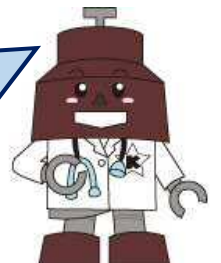
令和5年度検診の受診期限は**令和6年2月29日**です。

！ 1・2月は医療機関が大変混雑し、予約が取りにくい状況です。
お早目に予約、受診いただくことをお勧めいたします。



がん検診の結果で精密検査受診案内を受け取ったら
！ 専門の医療機関で、精密検査を必ず受けましょう。

問い合わせ……健康増進課健診係 Tel. 048-256-1135(直通)



予防接種を受けましょう

予防接種には、自らが病気にかかりにくくなるだけでなく、社会全体でも流行を防ぐ効果があります。

令和6年4月に小学校へ入学するお子様を持つ保護者のかたへ MRワクチンを受けましょう！

麻しん風しん混合ワクチン（MR）第2期の予防接種はお済みですか？
感染力の強いはしか（麻しん）は空気を介して人から人へとうつるため、
手洗いやマスクだけでは予防できません。

ワクチンの接種だけが、感染を防ぐただひとつの方法です。

未接種の方は令和6年3月31日までに受けましょう！！



昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性のかたへ まずは風しん抗体検査を受けましょう！

この世代の男性は、風しんの予防接種を公的に受ける機会がなかったため、他の世代に比べて抗体保有率が低い世代です。風しんの感染拡大防止及び先天性風しん症候群の予防のため、まずは風しん抗体検査を受けましょう。検査の結果、抗体価が低いかたは、令和6年度末まで定期予防接種も無料で受けることができます。

※検査・接種には市が発行したクーポン券が必要です。

※クーポン券の発行や制度の詳細は市ホームページをご覧ください。



「風しんの追加的対策」

ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症定期予防接種対象のかたへ

ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症定期予防接種は、現在小学校6年生から高校1年生相当の女子を対象に実施されています。そのほかに平成9年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた女性で、過去に合計3回受けていないかたも無料で接種が受けられます。

※対象のかたは来年度を逃すと、有料になります。

川口市にお住まいのHPVワクチン接種対象者約43,000人のうち、今年の4月から8月までに約3,400の方が接種しておりますが、まだまだ低い接種率になっています。

令和5年度からは、2価HPVワクチン（サーバリックス）、4価HPVワクチン（ガーダシル）のほかに、9価HPVワクチン（シルガード9）が定期接種化されました。

また、令和6年度に高校1年生になるかたと、過去に合計3回受けていない対象のかたは、令和6年度が公費で接種できる最終年度になります。

HPVワクチンは、子宮頸がん全体の50～70%の原因とされるウイルスに予防効果を持つワクチンです。

子宮頸がんを苦しまないために、早めのワクチン接種でHPVの感染を予防しましょう！



「ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症定期予防接種について」→

※対象者や委託医療機関などの詳細は市ホームページをご覧ください。



問い合わせ……健康増進課 ☎048-256-1135

編集 管理課管理係 / 〒333-0842前川1-11-1川口市保健所内
048-423-2334（直通） / FAX048-423-8852